

各位

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス
代表者 取締役社長 神原 忠明
(コード番号 4761)
問合せ先責任者 執行役員 経営企画部長 高岸 浩司
(TEL 078-391-6571)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年7月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,000	130	160	170	15.17
今回修正予想(B)	10,847	283	307	283	25.33
増減額(B-A)	△152	153	147	113	
増減率(%)	△1.4	117.7	91.9	66.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	11,058	404	449	345	30.84

修正の理由

(1)2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想について

売上高につきましては、コロナ禍において、特別定額給付金対応などによる増加要因があった一方、要員稼働の抑制や商談活動の遅延等により売上計上が後倒しとなるなど減少要因が大きく、前回発表予想を下回る見込みであります。

一方、損益面につきましては、新型コロナウイルス感染症対策及び情報セキュリティ対応強化等にかかる費用増加があったものの、総じて費用支出を削減したこと及び一部実施が先送りとなったことにより販売費及び一般管理費が抑制されたことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を上回る見込みであります。

(2)2021年3月期通期連結業績予想について

通期業績につきましては、コロナ禍における要員稼働の抑制や商談活動の遅延等の可能性が引き続き残っているものの、第2四半期までに後倒しとなった案件は、第3四半期以降に売上計上できる見込みであることに加え、足下の手持ち商談の状況を踏まえ、売上高は前回発表予想を据え置いております。

また、損益面につきましても、第2四半期(累計)において先送りとなった費用支出等を見込んでいることから、前回発表予想を据え置いております。

(3)配当について

1株当たり配当金につきましては、今回の業績予想の修正による変更はなく、当初の計画のとおり、中間配当金6円、期末配当金6円とし、年間配当金は12円を予定しております。

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上